

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

事業名	地域高規格道路 ICアクセス道路 都市計画道路 <small>たかばたけちようしやうせんきやう</small> 高畑町昇仙峡線（Ⅱ期）	事業区分	街路	事業主体	山梨県
起終点	自：山梨県甲府市千塚 至：山梨県甲府市千塚			延長	0.32km
事業概要					
<p>高畑町昇仙峡線は、山梨県甲府市高畑を起点とし、同市山宮へ至る延長約7.3kmの都市計画道路である。新山梨環状道路（仮称）牛句ICと接続し、県内道路ネットワークの形成に資する重要な路線の一つで、観光名所である昇仙峡への観光道路でもある。狭隘部の解消、歩行者・自転車の安全確保、IC・観光地や甲府駅等へのアクセス向上、災害時の避難・輸送機能の向上を目的として、改良及び電線類地中化の整備を行う。</p>					
H31年度事業化		H25年度都市計画決定		R2年度用地着手	
R5年度工事着手					
全体事業費	約14億円	事業進捗率	58%	供用済延長	— km
計画交通量	15,100台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 7.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 3/13億円 事業費：2.6/12.7億円 維持管理費：0.3/0.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 20/20億円 走行時間短縮便益：19/19億円 走行経費減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年	令和5年
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.4~1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=6.3~7.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.5~1.6 (事業費±10%) 事業費：B/C=6.4~7.7 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.6 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=6.7~7.3 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に発生している現道の渋滞を解消することで、新山梨環状道路（仮称）牛句ICと中心市街地とのアクセス向上が図れる。 ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・「道路の整備に関するプログラム」（令和5年3月策定）に位置付けられている 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約85%、事業進捗率約65%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



凡 例	
■	今回事業評価区間
■	事業中区間
■	整備済区間

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。